

2025.4.12

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会総会 部会長挨拶文

部会長 鳥丸 俊郎

日頃より札幌地区バスケットボール協会 U12 部会の運営に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。また、本日は、御多用の中、総会にご出席いただきましたことに、感謝申し上げます。

部会長を拝命して、1年が経過しようとしています。参観させていただいた試合やチームの行動、子どもたちの様子から、成長や変化を感じ、思わず微笑んでしまう機会をたくさんいただきました。昨年度の総会で掲げた「育成マインド」が着実に浸透していることに大きな手応えを感じています。

一方で、残念に思える事案にも、数件出会いました。特に、子どもの人権に関わることにつきましては、私自身の発信が十分ではなかったとの反省に立ち、この場をお借りして、述べさせていただきます。少子化が進んでいる現代において、子どもの人権は非常に価値が高くなっています。「一人一人を大切にする」「誰一人取り残さない」「子どものよさや可能性を最大限に引き出す」などの発信が、教育の場からなされているのは御承知のことと思います。

そこで、今年度は「サイレントゲーム」の徹底を図っていきたいと考えています。「バスケットボールを楽しむ選手の主体性を大切にするために、試合中の選手のコミュニケーションを阻害するような声掛けは控える」「タイマーが止まった時に気付きを促すような声掛け、励ましを行う」「相手チームに対しても賞賛や励ましの言葉掛けをしていく」というのがその概要です。大会のみならず、練習試合などでも、徹底されることを目指していきたいものです。

この3月に行われた、全道部会長会議にて、伝達を受けたことにつきまして、2点皆様と共有をさせていただきます。

1点目は、特別ルールに関することです。御存知の方もいらっしゃるかと思いますが、3月の全国大会におきまして、「3ポイントの適用」「6号ボールの使用」「305cmの高さのリングの使用」という3点の特別ルールが採用されました。3月という時期、各地区の代表チームであること、などが考慮された上での採用であったとのことです。これを受けて、今年度、道主催大会である夏の「サマーフェルティバル」と冬の「北海道ミニバスケットボール大会」「北海道ブロックミニバスケットボール大会」につきましては、「3ポイントの適用」を特別ルールとして採用する方向で検討しているとのことです。特別ルールにつきましては、あくまで子どもやチームの特性に沿ったものであると考えられることから、札幌地区の大会につきましては、原則現行のミニバスのルールに基づいた運営とさせていただきます。ただし、後期リーグにつきましては、ブロックやチームの状況に応じて、柔軟なルールの採用を検討いたします。

2点目は、基盤強化に関することです。バスケットボールの魅力を地域の子どもたちに体験してもらうために、基盤強化費が予算化されています。これまで、各チームやブロックで、体験会などを実施されたことがあるのではないかと思われますが、今年度は、一定のルールを設けて、このような活動へ、基盤強化費を適用できるようにしていきたいと考えております。詳しくは、後日、改めて情報発信させていただきます。

本日の総会には、今年度の運営に関する重要な内容が多々含まれております。是非、十分に御理解いただき、各チームの全ての関係者に伝達をいただきたいと考えております。

どうぞよろしくお願ひいたします。